



注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期1Q	5,882,001株	29年5月期	4,865,201株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	45株	29年5月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期1Q	5,428,470株	29年5月期1Q	4,764,757株

※ 四半期決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(表示方法の変更)	6
(セグメント情報)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得の改善、企業収益等の増加により景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、海外の不安定な政治動向が懸念され、先行きは不透明な状況となっております。

わが国のオンラインゲーム市場においては、引き続きユーザー数は伸びているものの、提供タイトルが増加しており、事業環境の変化を遂げております。

このような事業環境のもと、当社グループは当第1四半期連結累計期間におきましても、引き続き国際競争力のあがるゲームの開発を続けるとともにテレビCMなど広告宣伝に力をいれ、「クレーンゲームトレバ」の事業拡大を図ったことで、売上高は増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高は1,360百万円となり前年同期に比べ、135.7%の増収となりました。利益面につきましては、営業損失15百万円(前年同期は営業損失36百万円)、経常損失24百万円(前年同期は経常損失93百万円)、税金等調整前四半期純損失23百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損108百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失26百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失112百万円)となりました。

なお、当期より、経営全般にわたって、より効果的な事業運営を図ることを目的として、連結子会社1社の決算日を3月31日から当社の連結決算日である5月31日に変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間には、当該連結子会社の平成29年4月及び5月の2か月間における業績を反映しております。

当社グループはオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報ごとの記載をしておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ725百万円増加し、2,443百万円となりました。これは主に、現金及び預金327百万円、売掛金147百万円、貯蔵品63百万円、有形固定資産55百万円、無形固定資産51百万円の増加によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ356百万円増加し、792百万円となりました。これは主に、未払金310百万円、未払費用81百万円の増加が生じたことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ369百万円増加し、1,651百万円となりました。これは主に、資本金197百万円、資本剰余金197百万円の増加が生じたことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期の連結業績予想につきましては、平成29年7月14日に公表いたしました予想値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	951,752	1,279,473
売掛金	225,556	373,381
商品	485	713
仕掛品	-	21,266
貯蔵品	100,326	163,755
未収還付法人税等	10,808	-
その他	88,627	160,500
貸倒引当金	△7,380	△7,380
流動資産合計	1,370,176	1,991,710
固定資産		
有形固定資産	109,822	164,959
無形固定資産	142,464	193,508
投資その他の資産	95,485	93,684
固定資産合計	347,772	452,152
資産合計	1,717,949	2,443,862
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,242	1,509
1年内返済予定の長期借入金	21,348	21,348
未払金	181,803	491,952
未払費用	84,307	165,751
未払法人税等	45,191	20,044
預り金	33,910	24,724
その他	35,529	39,585
流動負債合計	403,333	764,914
固定負債		
長期借入金	27,059	21,722
退職給付に係る負債	5,285	5,780
固定負債合計	32,344	27,502
負債合計	435,677	792,417
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018,662	1,216,388
資本剰余金	83,452	281,178
利益剰余金	81,626	54,843
自己株式	△28	△28
株主資本合計	1,183,712	1,552,380
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,790	13,979
その他の包括利益累計額合計	15,790	13,979
新株予約権	82,768	85,085
純資産合計	1,282,271	1,651,445
負債純資産合計	1,717,949	2,443,862

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	577,114	1,360,518
売上原価	139,128	200,744
売上総利益	437,986	1,159,773
販売費及び一般管理費	474,005	1,174,945
営業損失(△)	△36,018	△15,172
営業外収益		
受取利息	49	224
その他	697	832
営業外収益合計	746	1,057
営業外費用		
支払利息	806	525
為替差損	28,734	5,081
支払手数料	-	2,976
貸倒引当金繰入額	25,128	-
外国源泉税	2,708	1,739
その他	858	32
営業外費用合計	58,235	10,354
経常損失(△)	△93,506	△24,469
特別利益		
新株予約権戻入益	-	673
特別利益合計	-	673
特別損失		
特別調査費用	15,300	-
特別損失合計	15,300	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△108,806	△23,795
法人税、住民税及び事業税	4,112	2,986
法人税等合計	4,112	2,986
四半期純損失(△)	△112,919	△26,782
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△112,919	△26,782

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純損失(△)	△112,919	△26,782
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	9,679	△1,811
その他の包括利益合計	9,679	△1,811
四半期包括利益	△103,240	△28,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△103,240	△28,593
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ197,725千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金は1,216,388千円、資本剰余金は281,178千円となっております。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

当第1四半期連結累計期間より、連結子会社1社の決算日を3月31日から5月31日に変更しております。この変更は、すべての連結対象会社の決算日を統一することで、経営全般にわたって、より効率的な事業運営を図ることを目的としております。

当該変更に伴い、当該連結子会社は平成29年4月1日から平成29年8月31日までの5か月間を連結対象期間とする変則的な決算となっております。

なお、当該連結子会社における平成29年4月1日から平成29年5月31日までの損益については、四半期連結損益計算書を通して調整する方法を採用しており、同期間の売上高(個別財務諸表の合計額。以下同じ。)は1,622千円、営業損失は3,889千円、経常損失は4,166千円、税引前四半期純損失は4,166千円であります

(表示方法の変更)

前第1四半期連結累計期間において、「法人税、住民税及び事業税」に含めておりました「外国源泉税」は、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2017年3月16日)の公表により取扱いが明確化された事により、前連結会計年度より「営業外費用」に表示することといたしました。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「法人税、住民税及び事業税」に表示していた6,820千円は、「法人税、住民税及び事業税」4,112千円、営業外費用の「外国源泉税」2,708千円として組み替えております。また、この変更により前第1四半期連結累計期間の経常損失は90,798千円から93,506千円に、税金等調整前四半期純損失は106,098千円から108,806千円となっております。

(セグメント情報)

当社グループは、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。